

各会計合算財務諸表 《ダイジェスト版》

1 財務諸表《ダイジェスト版》

貸借対照表

貸借対照表は、財務諸表の作成基準日における資産、負債及び純資産の状況を明らかにすることを目的として作成する計算書です。

平成29年3月31日現在、1兆4,407億円の資産と1,197億円の負債があります。純資産は1兆3,211億円であり、前年度から64億円増加しています。

貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)

流動資産(224億円)	
1年以内に回収の期日が到来するもの	
現金預金(64億円)	歳入歳出に属する現金を計上しています。官庁会計における歳入歳出差引残額と一致します。
未収金(68億円)	税未収金16億円、保険料未収金36億円、その他未収金15億円を計上しています。
徴収不能引当金(△17億円)	未収金の徴収不能見込額を計上しています。
基金(106億円)	財政調整基金106億円を計上しています。前年度に比べ、1億円増加しています。

固定資産(1兆4,183億円)	
流動資産以外のもの	
事業用資産(4,820億円)	市庁舎や学校など、主に公共用に使用する資産のうちインフラ資産を除く資産で、土地や建物などの有形固定資産のほか、特許権等の無形固定資産を含んでいます。
土地(事業用資産)(3,591億円)	北消防署移転建替え候補用地の購入、正雀下水処理場跡地所管換などにより、前年度に比べて33億円増加しています。 土地の主な内訳:公園緑地事業1,936億円、小学校事業471億円、中学校事業279億円、財産管理事業115億円、総合運動場事業94億円、市営住宅事業74億円、青少年クリエイティブセンター事業48億円、北大阪健康医療都市推進事業40億円
インフラ資産(9,060億円)	道路、水路及び下水道施設の資産です。
土地(インフラ資産)(7,703億円)	前年度に比べて7億円増加しています。
建設仮勘定(事業用資産97億円+インフラ資産2億円)	固定資産を取得する場合における支出及びその付随的支出を、資産が完成するまでの間計上するものです。主な内訳は、道路事業51億円、市営住宅事業41億円、北大阪健康医療都市推進事業2億円です。
物品(32億円)	取得価額が100万円以上の物品10億円、図書館資料21億円を計上しています。

科目	平成28年度	平成27年度	増減額
資産の部			
流動資産	22,450	18,440	4,010
現金預金	6,364	3,201	3,163
未収金	6,770	5,990	780
徴収不能引当金	△ 1,733	△ 1,796	62
基金	10,628	10,544	84
短期貸付金	121	224	△ 103
徴収不能引当金	-	-	-
その他	300	277	23
固定資産	1,418,286	1,416,814	1,472
事業用資産	482,010	475,763	6,247
土地	359,074	355,740	3,333
建物・工作物	104,095	105,568	△ 1,473
建設仮勘定	9,699	6,044	3,656
その他	9,142	8,411	731
インフラ資産	906,036	908,359	△ 2,322
土地	770,330	769,599	731
建物・工作物	135,498	138,661	△ 3,163
建設仮勘定	208	99	109
物品	3,184	2,941	243
投資その他の資産	27,055	29,751	△ 2,695
出資金	6,903	6,829	75
長期貸付金	5,053	4,502	551
徴収不能引当金	-	-	-
基金	15,153	18,476	△ 3,323
基金貸付金徴収不能引当金	△ 55	△ 56	1
その他	-	-	-
資産の部合計	1,440,736	1,435,254	5,482

(右ページに続く)

負債は将来世代の負担であり、純資産は市民共有の財産である資産から将来世代が負担する負債を差し引いたものです。

世代間負担の公平性と、財務の健全性を表す指標として、純資産比率（資産合計に対する純資産の割合）があります。当年度の吹田市の純資産比率は91.7%です。この割合が高ければ高いほど、現在の資産形成が過去及び現役世代の負担により賄われたもので、将来世代の負担が低いことを表しており、財務的健全性が高いと言えます。

貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

科目	平成28年度	平成27年度	増減額
負債の部			
流動負債	14,739	13,936	803
地方債	8,715	8,729	△ 14
建設債	6,740	6,621	119
特別債	1,975	2,108	△ 133
賞与引当金	1,544	1,460	85
その他	4,479	3,747	732
固定負債	104,913	106,663	△ 1,749
地方債	83,218	84,743	△ 1,525
建設債	69,070	68,619	452
特別債	14,148	16,125	△ 1,977
退職手当引当金	17,568	17,359	209
その他	4,127	4,560	△ 433
負債の部合計	119,652	120,599	△ 947
純資産の部			
純資産	1,321,084	1,314,656	6,429
開始残高相当	1,280,093	1,280,093	-
収支差額	40,991	34,562	6,429
純資産の部合計	1,321,084	1,314,656	6,429
負債及び純資産の部合計	1,440,736	1,435,254	5,482

※ 固定資産の増加につながる当年度の投資的支出額は119億円、主なものは次のとおりです。

市営住宅事業 34億円、小学校事業 23億円、消防事業 18億円
道路事業 8億円、下水道事業 8億円、中学校事業 7億円

出資金（69億円）

法人等出資金53億円、公営企業会計出資金16億円を計上しています。

基金（152億円）

財政調整基金以外の基金を計上しています。前年度に比べ、33億円減少しています。

流動負債（147億円）

1年以内に履行の期日が到来するもの

地方債（87億円）

地方債残高のうち、翌年度の償還予定額を計上しています。

賞与引当金（15億円）

翌年度に支払うことが予定されている期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る共済費のうち当年度の負担相当額を負債として計上しています。

固定負債（1049億円）

流動負債以外のもの

地方債（832億円）

地方債残高のうち、流動負債を除いた金額を計上しています。

退職手当引当金（176億円）

当年度末に全職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込み額を負債として計上しています。前年度に比べ、2億円増加しています。

地方債について

（流動87億円＋固定832億円）

地方債（919億円） ※再掲

流動負債と固定負債を合せると地方債残高は919億円となり、前年度に比べ、15億円減少しています。

うち建設債（758億円）

資産形成のために発行した地方債です。
当年度償還額66億円、起債額72億円で、前年度に比べ、6億円増加しています。

うち特別債（161億円）

財源補填のために発行した地方債です。
当年度償還により、前年度に比べて21億円減少しています。

純資産（1兆3,211億円）

資産総額－負債総額

行政コスト計算書の収支差額を純資産に組み入れたことにより、前年度に比べ、64億円増加しています。

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、一会計期間の行政サービスの提供に要した費用とそれを賄うための財源である収入及び収支差額を表示し、市民等の負担と受益のバランスを明らかにすることを目的として作成する計算書です。減価償却費や引当金繰入額など現金を伴わない費用についても計上します。

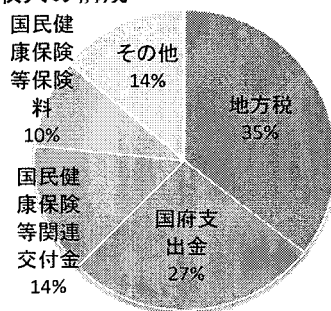
経常収支差額12億円と特別収支差額53億円を合わせた当年度収支差額は64億円となりました。

行政コスト計算書

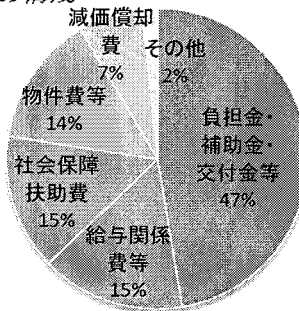
(単位:百万円)

科目	平成28年度	平成27年度	増減額
経常収支の部			
経常収入	178,602	180,806	△ 2,204
地方税	65,438	63,569	1,869
税関連交付金等	8,957	10,112	△ 1,156
国民健康保険等保険料	17,637	17,363	273
国民健康保険等関連交付金	25,913	26,395	△ 482
使用料及び手数料	7,809	7,661	148
国府支出金(経常費用充当)	47,178	44,917	2,261
その他	5,672	10,789	△ 5,117
経常費用	177,429	179,150	△ 1,721
給与関係費	23,960	23,718	242
物件費	21,689	22,672	△ 983
維持補修費	3,320	2,928	393
社会保障扶助費	26,020	25,691	329
負担金・補助金・交付金等	84,345	87,245	△ 2,900
減価償却費	12,259	11,473	787
徴収不能引当金繰入額	449	382	67
賞与引当金繰入額	1,544	1,460	85
退職手当引当金繰入額	1,940	1,215	725
支払利息	1,730	1,973	△ 243
その他	173	395	△ 221
経常収支差額	1,173	1,656	△ 483
特別収支の部			
特別収入	5,842	27,603	△ 21,761
国府支出金	2,627	2,404	223
その他	3,215	25,200	△ 21,985
特別費用	586	485	102
固定資産除売却損	116	483	△ 367
減損損失	-	-	-
その他	470	2	469
特別収支差額	5,256	27,119	△ 21,863
当期収支差額	6,429	28,775	△ 22,346

収入の構成



費用の構成



経常収支の部

通常の行政活動に関する収支

経常収入

その他(57億円)

前年度に比べ、51億円減少しました。

主な内訳(カッコ内は前年度からの増減):

- 保育所事業 15億円(△3億円)
- 地域医療支援事業 6億円(+0億円)
- サッカースタジアム事業 2億円(△33億円)
- 商工振興事業 0億円(△8億円)

経常費用

社会保障扶助費(260億円)

前年度に比べ、3億円増加しました。

主な内訳(カッコ内は前年度からの増減):

- 生活保護事業 105億円(△1億円)
- 子育て支援給付事業 74億円(+1億円)
- 保育所事業 43億円(+4億円)

負担金・補助金・交付金等(843億円)

前年度に比べ、29億円減少しました。

主な内訳(カッコ内は前年度からの増減):

- 国民健康保険事業 398億円(△10億円)
- 介護保険事業 220億円(+5億円)
- 障害者福祉事業 74億円(+7億円)
- 後期高齢者医療事業 45億円(+1億円)

特別収支の部

特別の事情により発生する収支

特別収入

その他(32億円)

前年度に比べ、219億円減少しました。

その他(32億円)のうち、受贈財産評価収入の主な内訳は次のとおりです。

- 道路事業 9億円(△19億円)
- 下水道事業 2億円(△1億円)
- サッカースタジアム事業 0億円(△124億円)
- 北大阪健康医療都市推進事業0億円(△59億円)

特別費用

固定資産除売却損(1億円)

前年度に比べ、4億円減少しました。

主な内訳: 情報システム運用事業1億円

その他(5億円)

前年度に比べ、5億円増加しました。

主な内訳: 北大阪健康医療都市推進事業5億円

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間の資金収支を3つの活動区分（行政サービス活動、投資活動、財務活動）に分けて表示したものです。活動区分に分けることにより、現金収入が税収によるものか、借入によるものかといった違いや、現金支出が施設の建設や改良のための投資的な支出であるのか、過去の借入金の返済なのかといった違いを表しています。

行政サービス活動収支差額は124億円であり、投資活動収支差額△65億円、財務活動収支差額△23億円と合わせて、収支差額合計は35億円でした。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	平成28年度	平成27年度	増減額
行政サービス活動			
経常収入	176,174	178,973	△ 2,799
地方税	65,513	63,614	1,899
税関連交付金等	8,957	10,112	△ 1,156
国民健康保険等保険料	17,113	16,863	250
国民健康保険等関連交付金	25,913	26,395	△ 482
使用料及び手数料	6,993	7,675	△ 682
国府支出金(経常支出充当)	47,178	44,917	2,261
その他	4,508	9,397	△ 4,889
経常支出	163,818	167,621	△ 3,803
給与関係費	27,002	27,113	△ 110
物件費	21,538	22,672	△ 1,134
維持補修費	3,290	2,928	362
社会保障扶助費	26,020	25,691	329
負担金・補助金・交付金等	84,239	87,245	△ 3,006
支払利息	1,730	1,973	△ 243
その他	-	-	-
特別収入	-	-	-
特別支出	-	-	-
行政サービス活動収支差額	12,356	11,353	1,004
投資活動			
投資活動収入	7,394	4,758	2,636
国府支出金(公共施設等整備)	2,627	2,404	223
基金繰入金(取崩額)	4,181	1,610	2,571
その他	586	744	△ 158
投資活動支出	13,894	13,771	123
公共施設等整備支出	11,889	10,622	1,267
基金積立金	942	2,628	△ 1,686
その他	1,063	521	542
投資活動収支差額	△ 6,501	△ 9,013	2,512
行政活動キャッシュ・フロー収支差額	5,856	2,340	3,516
財務活動			
財務活動収入	7,192	6,641	551
地方債	7,192	6,641	551
その他	-	-	-
財務活動支出	9,513	9,558	△ 45
地方債償還金	8,731	8,849	△ 119
その他	783	709	74
財務活動収支差額	△ 2,322	△ 2,917	596
収支差額合計	3,534	△ 578	4,112
前年度からの繰越金	3,201	3,912	△ 711
翌年度繰上充用金	2,362	2,733	△ 371
当年度繰上充用金	2,733	2,867	△ 133
当期末現金預金残高	6,364	3,201	3,163

行政サービス活動

経常的な行政サービスを提供するための現金の収支を表します。
この区分の収支差額が大きいほど、支出の自由度が高いことを意味します。

行政サービス活動収支差額が124億円となり、前年度に比べ、10億円増加しました。

投資活動

固定資産の取得及び売却、基金の積立及び取崩、貸付、出資等に係る現金の収支を表します。

この区分の収支差額のマイナスが大きいほど、資産形成が進んでいることを意味します。

投資活動収支差額が△65億円となり、前年度に比べ、25億円増加しました。

財務活動

外部からの資金調達とその返済に係る現金の収支を表します。

この区分の収支差額のマイナスが大きいほど、負債が減少していることを意味します。

財務活動収支差額が△23億円となり、前年度に比べ、6億円増加しました。

純資産変動計算書

純資産変動計算書は、純資産の一会計年度の変動を明らかにすることを目的として作成する計算書です。

当年度の純資産は、行政コスト計算書の収支差額64億円を反映して64億円増加し、1兆3211億円となりました。

純資産変動要因の分析

I 行政サービスの提供に寄与する資産のうち負債を伴わない額の増減 + 45億円

公共施設などの固定資産からその取得のための借入金（地方債）を差し引いた金額であり、当年度の市民の負担や利用により固定資産が変動した金額を表します。

（主な要因）

新たな施設の建設や更新等による建物等の資産の増加	+ 157億円
受贈による土地、建物等の資産の増加	+ 12億円
施設の老朽化及び資産価値の低下（減価償却）	△ 123億円

II 資産の裏付けのない負債の増減 + 19億円

資産の裏付けのない負債（将来世代の受益を伴わない負担）の増減による純資産の変動を表しています。

（主な要因）

財源補填のために発行した地方債の減少	+ 21億円
退職手当引当金（全職員が退職した際の退職手当の要支給額）の増加	△ 2億円

III その他の増減（翌年度以降の財源となる資産など） + 0億円

（主な要因）

現金預金の増加	+ 32億円
取崩しによる基金の減少	△ 32億円
未収金の増加	+ 8億円
その他負債の減少	△ 8億円

2 財務諸表の分析

財務分析

(1) 主な財務分析(財務諸表に表れた数値を用いて各種の比率を算出)

指標	方法・算式	目的・意味	平成28年度	平成27年度
施設老朽化比率	BS減価償却累計額／BS固定資産取得価額(建物及び工作物)	施設の更新計画や修繕計画の立案に有用な情報を把握することができます。	53.9 %	52.5 %
施設維持補修費比率	PL維持補修費／BS固定資産取得価額(建物及び工作物)	施設老朽化比率と合せて、施設の維持補修の合理性や効率性を検証することができます。	0.6 %	0.6 %
投資活動支出対減価償却費比率	CF公共施設等整備支出／PL減価償却費	その年度の施設の老朽化の進行に対し、新設・改良などの対応を行った割合が把握できます。	97.0 %	92.6 %
徴収不能引当率	BS(未収金及び貸付金に係る徴収不能引当金)／BS(未収金、貸付金の合計)	未収金や貸付金などの金銭債権のうち回収が困難と見込まれる割合で、適正な債権管理を行ううえで必要な指標です。	14.9 %	17.2 %
純資産比率	BS純資産／BS資産合計	資産のうち、これまでの世代及び将来の世代の負担割合が把握できます。	91.7 %	91.6 %

(2) 市民一人当たりの資産、負債、収入、費用の状況

前年度に比べ、市民一人当たりの資産は6,429円減少し、負債は4,349円減少しました。

	資産	負債	純資産	経常収入	経常費用	人口
平成28年度	3,898,918 円	323,802 円	3,575,117 円	483,333 円	480,159 円	369,522 人
平成27年度	3,905,347 円	328,151 円	3,577,197 円	491,976 円	487,470 円	367,510 人
増 減	△ 6,429 円	△ 4,349 円	△ 2,080 円	△ 8,643 円	△ 7,311 円	2,012 人

※ 人口は各年度末(3月31日時点)の数値を使用

(3) 3か年の推移

